



「ゆめ・にっしん」は、平成18年2月創刊。「日日に新たに」ゆめある日新まちづくりの一翼を担い、地区文化の向上を願って今日に至っている。

発行：誇りと夢・まちづくり日新広報部会  
文京5-1-8 日新公民館  
発行日：2011年6月21日

日新

荷日新 日に新たに  
日日新 日々新たに  
又日新 又日に新たなり

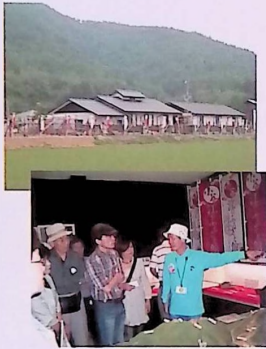
出典「大学」

ゆめ  
にっしん

地区行事から

第19回 ふれあいツアー 6/5

《長浜お江博覧会と花フェスタ記念公園へ》



①小谷・江のふるさと館  
語り部の説明に聞き入る



②浅井・江のドラマ館  
キャラクターがお出迎え



③咲き競う世界の薔薇の庭園  
ちょうど見ごろの花々を満喫



新館長 廣瀬行雄さん (60) 大宮5

4月より、第7代目館長を務めさせて  
いただいている廣瀬です。この場をお借  
りして、若干の自己紹介と現在の思いを  
述べさせていただきます。

3月までは、清水南小学校で校長を  
しておりました。この時いつも頭にあった  
のは、◇子どもたちの安全を守ること。  
◇先生たちの力が最大限に発揮できたり  
伸ばせたりするようにすること。◇子ども  
たちにはいい講話が出来るように心がけること。などでした。  
いろいろの方々のお支えで、楽しい思い出をたくさん作る  
ことが出来ました。

4月より、日新公民館でお世話になり、最初感じたこ  
とは、◇たくさんの方が活動がされていること。◇労を惜しま  
ずに熱心に取り組んでくださる方がたくさんおられること。  
◇公民館全体の雰囲気がとても温かいこと。などです。  
これらの素晴らしい点に感謝しながら務めを果たしていきた  
いと思っております。

またみなさんの頑張りを、公民館だよりで  
これからもできるだけ多くお伝えして  
いけたらと考えております。  
よろしくお願いたします。



半可通夫

審判中も・・・も、競技中も、  
食べながら、はなかつたたら  
うか？式典中・・・も、競技中も、  
審判中も・・・も、競技中も、

わがまち匠



日新公民館自主グループ  
フォトクラブ代表

松井良忠さん (80) 文京5

地区行事の写真を一手に引受けて多忙な松井さん。  
2年ほど前、公民館からの要請もありフォトクラブを  
立上げ、現在クラブ員数16人の大所帯のお世話をな  
さっています。写真の話を何と素人の私でも楽しく  
時間の経つのを忘れるほどでした。

最初は昭和27、28年頃からで、定年後本格的に勉強  
もされ、写真も撮りまくったそうです。

ライカからニコン etc. のカメラの話、尊敬している木村伊平衛、  
土門拳等、写真家の話・・・。5年位前からはデジカメを多用。クラ  
ブの皆さんも殆どがデジカメとのことで、これからはカメラ講座等、  
勉強もしつつ“写真を楽しむ”ことを第一義に皆さんと和気あいあい  
とやってゆきたいと締め括って頂きました。(鈴木)



フォトクラブの面々



公民館まつり出品作「わかれ」

見苦しいガムカミかみ噛み

日新春秋

▼戦後「進駐軍」がガムを  
噛みながら市中を横行してい  
た。わたしたちはこの「噛み  
ながら、食べながら」の行為  
を白い目で見ている一方では、食  
べ物不足にあえいでいた日本  
人には「縁に「けななき」「う  
らやまき」も手伝い、まね  
したくてもまねできない悔し  
さが当時はあったらう。

▼いまは。わたしたちの周辺  
には、あまりにも口動かし、  
ガム噛みは多い。「公務中」「私  
用中」を問わずである。食べ  
物は十分ある。捨てるほどあ  
る。そして「ガムは顎の力を  
強くする」とか「甘いものは  
疲れを癒す」とかの効用を  
説くが言い訳だらう。

▼日本人の「ガム噛み」はブ  
ロ野球選手から始まったかど  
うかは知らない。試合中は「公  
務」である。ガム噛みだけで  
はなくつばも吐く。見苦しく  
汚い。いつの間にか「みん  
なしていい」と一般化し、大  
衆化して、いたるところで見  
受けられる。日本人の道徳心、  
モラルはどうなったのだら  
う。▼先日、地区体育大会は  
住民親睦の役割を果し無事終  
了した。が「ガム噛みながら、  
食べながら」はなかつたたら  
うか？式典中・・・も、競技中も、  
審判中も・・・も、競技中も、



乾徳地区 橋本家

3月に石川から引っ越してきました。近くに両親が住んでおり、3世代7人家族です。長男葉弥(1年生)は柔道を習っています。長女芽依(2歳)はおしゃべり大好きです。子ども達は毎日両親宅へ遊びに行っています。元気いっぱい、にぎやかな橋本家です。



文京地区 田中家

昨年9月に上里宿舎の2号棟に引っ越してきました。長女、祐穂は6年生、次女、千広は2年生。二人ともバレーが大好きです。雪のほとんど降らない三重県から来たので、福井の冬の大雪にびっくり、大喜びの姉妹でした。母は日新小の図書ボラやはれっとサークルでがんばっています。父は超多忙な日々です。

日新愛ファミリー



わがまち宮島ブロック自治会

八ツ島神社の祭りとコミュニティー

宮島地区は、昭和40年代からの急速な市街化によって旧八ツ島町を核として発展した八ツ島第1〜第4と新しく誕生した東八ツ島、東上里の6自治会から成り、旧町部と新興地区がほどよく調和しながら今も発展を続けています。この一助となってきたものに白山神社の秋の祭礼があると思っています。

子ども神輿が広い地区をハッピー姿で練り歩き、境内では、自治会や子ども会等の模擬店、更に舞台では、子どもから大人まで出演するカラオケ大会、最後には全員でビンゴゲームを楽しむなど秋祭りは、年に一度の区民の交流の場として終日多くの人々が集い楽しんでいます。

この素朴で温かい祭りが無意識のうちに区民としての親近感を育んできたものと思われます。

今日、祭りはコミュニティー維持の傾向がますます強くなりつつありますが、祭りがもつ昔からの伝統も大切にしながら明るいまちづくりをめざしたいものです。

今年は神社本殿の瓦葺き替えがおこなわれます。10月9日には新しい装いで秋祭りが迎えられることを区民のみなさんと楽しみに待ちたいと思います。(宮島地区自治連合会長 飛田 甫)



広報部会

殿下地区広報委員を訪ねて

春まだ浅い3月、私たち編集委員は地区紙発行の先進地「殿下地区」を訪ねた。今は総世帯数199戸、幼・小・中学生あわせても17名という過疎の地区である。昭和52年からほぼ年4回発行されているという広報紙『かじか』。そのファイルは、とても分厚く手にずっしりと重みが伝わってきた。内容は地域のこと、学校のこと、関係機関からの情報などがいっぱい。若年層から高年層まで地区内の人々の寄稿、殿下に生まれて今は地区外に住む人によるペンリレー、あるいは手作りのクロスワードや挿絵などのお楽しみ欄も。出来上がったものは、希望により県内外に住む出身者にも発送しているようだ。まさに地区情報の発信拠点と言えよう。

帰り道、山あいの道路わきにまだ残るきれいな雪を見ながら、殿下と日新、地域としての違いはあるが、先達にならない「ゆめ・にっしん」を見れば地区の歴史が感じられるというように

なればいいものだ、心を新たにした。



人々で賑わう西雲寺の桜まつり

☆50番目の自治会

上里宿舎2号棟自治会

23年6月から日新地区自治会に加入しました。昨年完成したばかりの国家公務員宿舎です。6階建て47世帯が入居しています。

トピックス



底喰川 その5

— 当時の状況 —

底喰川は、昭和46年度から53年度にかけて暫定改修されたが、51年、JR北陸線以西の広い範囲で浸水し、大きな被害を受けた。そこで54年度から平成30年度まで、日野川合流点からJR北陸線・底喰川起点(大願寺)までの5.88kmの改修計画が立てられた。川幅は6mを16mに。平成5年までには旧地区公民館南地点まで3kmが完成していた。7年には現乾徳橋が完成している。

平成10年に入って、福井土木事務所は乾徳橋より上手の改修工事の説明会を開催し、地元理解を求めた。後に「底喰川整備検討会」と称された。開催理由は9年に河川法が改正されたことにより、従来の治水(洪水対策)、利水(水資源開発)の2本柱の他に初めて「環境」の文言が付け加わり、河川環境の整備が明記されたことによると思われる。説明会では工事の概要、施工業者、工事日程だけでなく諸問題(6m車道、歩道、歩車共存遊歩道、車道のスピード制限、生態系、街路樹、護岸工事等)が検討された。上里大学自治会からは要望書も提出され、かんかんがくがく、会は弾んだ。



上里橋上手の改修予想図 福井土木事務所提供

誇りと夢・わがまち創造事業 23年度計画(案)

交通 新役員・組織決定。22年度の結果を引継ぎ コミュニティバス試行運行計画書を作成する。交通政策室や事業者との打合わせ。地域住民との意見交換会を行う。

文化 9月-秋の七草観賞とお月見団子作り(親子30組)  
10月-公民館まつり前日祭ウオーク 11月-館外研修(三回町) 12月-茶道・華道体験学習支援(日新小6年生全員)  
2月-百人一首かるた会

環境 一斉清掃(クリーン作戦)3回。10月-館外研修  
11月-ものづくり体験「廃棄する前に再利用」  
2月-環境学習会 定例清掃-毎月

広報 ゆめ・にっしん4回発行 11月-広報に関する研修会  
毎月-ホームページ更新

川にゴミを捨てないで 底喰川に看板設置!!

3月から11月までの第4日曜日は底喰川の定例清掃日です。カルガモが泳いでいたりカメの一家が遊んでいたり、多くの生き物のすみかにもなっているのです。注意を呼び掛けようとしてまちづくり日新実行委員会が地区内の川の18か所に看板を設置しました。定例清掃とともに美しい底喰川を守っていきましょう。

